

海外短期プログラム参加者 報告書		※ 帰国後 15 日以内に提出してください。 ※ 提出された情報は、海外留学HPに掲載します。(色のついた部分は掲載しません)
留学先大学名	梨花女子大学 (国名: 韓国)	
参加プログラム名	梨花女子大学サマースペシャルプログラム	
プログラム期間	2017年 8月 ~	2017年 8月
学部/学府・年次	21世紀プログラム	2年次
参加に要した費用	協定に基づく授業料免除の有無 → <input checked="" type="radio"/> 有 無	
	「有」の場合、免除額を記入してください(170000 円)	
	航空運賃はいくらかかりましたか? (往復約 3 万円)	
	その他相手先大学に納入した費用を具体的に記入してください(例: 教材費、宿舎費、オプションの見学旅行など) ・フィールドトリップ代金…240000W ・国際寮代…480000W ・教材費…13000W	
このプログラムを選んだ理由	<p>私は1年次から第二外国語で選択している韓国に留学という形で行ってみたいと思い、様々なプログラムに申し込んできました。1年次はどのプログラムにも受かりませんでした。2年生になってやっとこのプログラムに合格することができました。</p> <p>韓国であればサマープログラムは他の学校でもたくさん開催されています。その中でも梨花女子大学を選んだのには訳があります。一つ目は立地です。韓国の中でもソウルに行きたいと思っており、ソウルの中でも難易度の高いこの大学を志望しました。二つ目は梨花女子大学がその名の通り女子大ということです。私は女子高出身で女子高時代に様々な出会いや分岐点となった出来事がありました。だから、せつかくであれば女子大に行って再び刺激を受けたいと思いこの大学、このプログラムにしました。</p>	
進路の予定	①. 就職 (時期: 4月から / ()月から) 2. 大学院進学 3. その他(具体的に:)	

1. 参加プログラムと大学について	
<p>プログラム(カリキュラム等)の概要について</p>	<p>一週目の週末に一泊二日で安東市というソウルからバスで四時間以上も離れた民族村に泊まりましたが、それ以外の休日は休み、平日は同じルーティーンを繰り返すという形でした。</p> <p>安東市でのフィールドトリップはいい経験にはなりましたが、部屋には得体の知らない虫が入ってきたり、冷水シャワーしかなかったりと大変なことも多かったです。</p> <p>平日のルーティーンとしては、午前中は韓国語の授業、各自昼食後はカルチャーの授業(日によって内容は異なりますが、韓国のジェンダーや韓国の伝統的な音楽などについて学びました。)、その後、学外フィールドワーク(明洞まで映画を見に行ったり、新村まで K-POP ダンスを踊りに行ったり、様々な場所に連れて行ってもらいました。)という形でした。</p> <p>どの行程も非常に満足がいくものでしたが、学外フィールドワークでは行きは学校側がバスを用意してくれるものの1分でも遅れたら先に行かれてしまったり、そもそも帰りのバスは用意されていなかったりと予想外なことも多かったです。</p>
<p>主催大学のサポート体制について (語学面/勉学面/精神面/住居・生活面など)</p>	<p>日常会話はどの場面でも英語もしくは韓国語のみでした。しかし、複数名いるスタッフの中で数人日常会話程度の日本語を話せる方がいらっしゃいました。また、このプログラムは世界各地から参加者がいましたが、カルチャーについての授業の際は毎度レジュメが英語版と日本語版を準備されていました。</p> <p>住居に関しては、希望したすべての学生に国際寮が用意されました。しかし、受付での簡単な説明以外は詳しい説明をされることはなく、渡された資料(英語と中国語と韓国語のみ)で自分自身で解決してくださいという形でした。その説明にも書かれていないランドリーでは私を含むたくさんの方が苦戦していたのを覚えています。</p>
<p>プログラムおよび大学に対する感想</p>	<p>プログラム全体としては非常に満足しています。</p> <p>韓国との文化の違いだけでなく、他国との文化の違いも同時に体験することになるので大変なんこともありました。逆に「みんな考え方は違うんだ。」と楽観視できました。</p> <p>私は、韓国語を韓国語で学ばなかったのが今回のプログラムの韓国語の授業は本当に理想的でした。初日にあるクラス分けテストで自分のレベルにあったクラスに振り分けられるので授業スピードにもついていやすかったです。</p> <p>また、このプログラムにはバディ制度があり、梨花女子大学の学生一人に対し、留学生が一人ないし複数人つくようになっているのですが、その制度のおかげで、恐らく自分達だけではいかなぬような市場に連れて行ってもらったり、「会計は別にしてください。」など教科書には載っていないけれど日常生活で使う言葉を教わったりしました。</p>

<p>同じプログラムを希望する人たちへのアドバイス</p>	<p>このプログラムの参加者は日本人が圧倒的に多いものも、日本以外の人と話す機会もとても多いプログラムでした。(韓国以外の人と話すこともとても多かったです。)その中で感じたのが、「もう少し英語を話せたら…」ということでした。</p> <p>もちろん、拙いながらも英語でのコミュニケーションに励みましたが、もっと英語ができていたら…と今でも悔いが残っています。</p> <p>だからこそ、英語はこのプログラムに参加する前に本当にしていた方がいいと思います。</p>
<p>2. 事前手続き(ビザ申請などが必要であった場合)</p>	
<p>ビザの種類</p>	
<p>ビザ申請先</p>	
<p>必要書類、手続き方法</p>	
<p>手続きに要した時間</p>	
<p>その他必要な事前手続きがあれば記入してください</p>	
<p>3. 日常生活</p>	
<p>日常生活の概要、感想</p>	<p>日常生活で苦労したことは、朝ごはんと洗濯です。</p> <p>朝ごはんは、寮内に作る施設とコンビニがなかったため、最初の頃は大学近くのカフェでとっていたりしましたが、韓国語の授業開始が9時で終わりが11時45分だったため、最後の方はもう朝ごはんを食べることをやめていました。このプログラムでできた日本人の友人はフリーズドライのスープを日本から持ってきていた朝食はそれを食べていたと話していました。</p> <p>洗濯で大変だったことは、寮にいる人数に対して洗濯機が明らかに少なかったことです。その上、洗濯できる時間や洗濯したい時期(フィールドトリップの後など)はかぶってしまうので、洗濯機があくまでその場所で一時間近く待ったこともありました。</p>
<p>生活費(全期間)及びおおよその内訳</p>	<p>交通費…30000W 程度 生活用品…10000W 程度 食費…300000W 程度</p>

日本から持参した方がよいもの（PCや変圧器等の要不要も）	韓国はコンセントのプラグが違うので変換プラグは持って行った方が便利でした。パソコンは授業自体には必要ないですがテレビがないので暇なときに動画を見たり、日本にいる家族とテレビ電話をするときには助かりました。また、部屋についているシャワーは洗面台とトイレと一体型なのでシャワー用のスリッパ(濡れて構わないもの)は必須でした。
日常生活（治安対策を含め）に関するアドバイス	とにかく坂道と階段が多い町並みという印象でした。二週間経つ頃には慣れてきましたが、最初の頃は毎日筋肉痛でした。特に坂道や階段が多い状態でのキャリーケースなどの大きな荷物を持つての移動は辛かったです。 私は留学期間中にちょうど独立記念日が重なったのですが、大学の周辺で集会等が起こっているというよりは大学とは離れた起こりそうな場所でやっているという印象でした。独立記念日の際は大学内のコンビニ等が閉まるので水分等は前日に多めに買っていました。
お金の管理や受け取り（銀行口座開設や海外送金、またはクレジットカード持参など）について、貴方の留学先国で最も適当な方法を教えてください。	国際寮の費用やフィールドトリップの費用は「現金のみ」での対応だったので、日本の銀行で割と多額を円からウォンに変えてから留学しました。韓国はカード社会ということもあり、念のためと思ってクレジットカードも持参しましたが一度も使用しませんでした。（これは使えなかったという意味ではなく事前に多めに両替をしていたので使う必要性がなかったということです。）また、夕食などの際には大皿料理を頼み友人たちとシェアすることもしたので、もしカードだけしかもっていなかったら割り勘などが少し面倒になったかもしれないとも思いました。

4. 宿舎、生活環境

宿舎の種類(○印をつける)	○大学の寮 ・ホテル・その他()
立地	大学の敷地内、正門から近い場所。
伝えたい地域情報、生活情報	大学も含む韓国の印象として水回りが汚かったことが挙げられます。特に、公共の施設ではトイレトペーパーも流せないところが多かったので、そこが日本との違いで一番苦しかったことでした。

5. その他の特記事項

特にありません。
